

(別紙 2)

電気事業法に基づくダム水路主任技術者講習会について

一般社団法人電力土木技術協会

電気事業法第 43 条第 1 項において、電気工作物を設置する者は、当該電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安を確保するため、「ダム水路主任技術者」の免状を有する者を「ダム水路主任技術者」として選任することが定められています。

ただし同法第 43 条第 2 項において、自家用電気工作物（発電設備の最大電力合計が 200 万 kW を超えない発電事業者の所有する電気工作物）のうち 2,000kW 以下の水力発電所については、「許可選任」の特例が定められています。これは出力規模に応じて一定の要件（経済産業省「主任技術者制度の解釈及び運用」（制定 2021020 保局第 2 号；令和 3 年 3 月 1 日）参照）を満たしている場合、大臣の許可を受けて、免状を持たない者から「ダム水路主任技術者」を選任することができるものです。（下表参照）

このうち 500kW 以上 2,000kW 以下の水力発電所に係る許可要件の一つとして、経済産業省が内規で定めた講習（「ダム水路主任技術者講習」）を受講した者であることとされています。本講習会は、この規定に適合するもので、修了者には当協会が受講修了証を発行致します。

なお本講習は、法令、土木関連基礎事項・設計、維持管理および実習と水力発電全般に係る内容であり、水力発電技術の習得にも適したカリキュラムとなっております。

(参考) ダム水路主任技術者許可要件 (○印を付したいずれかに該当する者)

要 件	100kW 未満	500kW 未満	2,000 kW 以下
(イ) 高等学校等で土木工学の課程を修めて卒業した者	○	○	○*
(ロ) 技術士第一次試験であって建設部門に合格した者	○	○	○*
(ハ) 技術士第二次試験であって建設部門、農業部門（「農業農村工学」に限る）、総合技術監理部門（建設部門または「農業農村工学」に限る）に合格した者	○	○	○*
(ニ) 土木施工管理技術検定に合格した者	○	○	○*
(ホ) (イ) と同等以上の知識及び技能を有すると認められる者	○	○	○*
(ヘ) 土木技術に関し相当の知識及び技能を有すると認められる者	○	—	—

* 出力 500kW 以上 2,000kW 以下の場合は、経済産業省が規定する要件に適合した講習の課程を修了する必要があります。